施策項目と目標指標

番号	施策項目	目標指標	現況値	目標値
1	**「いのち」を大切にし、豊かな心と健やかな体を育てる**			
(1)	自分や他人の生命を尊重し守る教育の充実を図る	自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合	小6 77.0% 中3 68.9%	小6 85% 中3 80%
(2)	教育の原点である家庭の教育力を高める	家庭教育講座等を実施している市町村数	27市町村	全35市町村
(3)	幼児期からの教育の充実を図る	「幼保小連携スタートプログラム」に基づき、幼保小連絡協議会を開催している小学校の割合	80%	100%
		幼児共育関連事業への参加者数	4,391人	5,000人
(4)	読書を通じて人間性を高める	読書が好きな児童生徒の割合	小6 78.0%・中3 72.4%	小6 90%・中3 80%
		子ども読書活動推進計画の策定市町村数	1市町村	全35市町村
(5)	豊かな心を育成する	人が困っているとき、進んで助ける児童生徒の割合	小6 81.5%・中3 77.7%	小6 90%・中3 85%
		不登校児童生徒数（小・中学校）	976人(H21)(出現率0.99%)	826人(出現率0.93%)
(6)	健やかな体を育成する	体力・運動能力調査で全国平均以上の項目の割合	80.4%(H21)	80%台(毎年)
		児童・生徒の朝食欠食率	小6 8.4%・中3 13.0%	小6 4.4%・中3 6.1%
2	**「まなび」を通して、自立をめざす**			
(7)	個々の能力を最大限に伸ばす	難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している児童生徒の割合	小6 73.2% 中3 66.3%	小6 80% 中3 75%
		全国学力・学習状況調査における正答率が、全国平均と比較してプラス３ポイント以上の科目数	1科目 (中３国語B問題)	全8科目
		現役での医学部医学科の合格者数	28人(H21)	40人
(8)	時代にふさわしい能力を身につける	英検（実用英語技能検定）準２級以上の合格者数	1,440人(H21)	2,000人
		算数・数学が好きな児童生徒の割合	小6 62.8%・中3 49.8%	小6 70%・中3 60%
(9)	一人ひとりの勤労観・職業観を育てる	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小6 86.8%・中3 73.1%	小6 90%・中3 80%
		技能検定合格者数	2級　11人(H21) 3級293人(H21)	2級　20人 3級　580人
(10)	郷土にまなび、郷土を大切にする	今、住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小6 83.5%・中3 48.7%	小6 85%・中3 60%
		高校生の県内就職率	71.3%(H22.3卒業生)	80%
(11)	特別支援学校における教育の充実を図る	「一人ひとりに応じた授業を実施している」と評価している保護者の割合	89%	95%
(12)	幼・小・中・高等学校における特別支援教育の充実を図る	「個別の指導計画」を作成している学校の割合	幼34.8% 小85.6% 中83.2% 高24.5%	全校種100%
(13)	時代の進展に対応した高等学校づくり	多様なニーズに応えた新しいタイプの高等学校数 ①総合学科 ②総合選択制 ③単位制	①5校 ②1校 ③5校	①7校 ②3校 ③9校
(14)	過小規模の小･中学校のあり方を検討する	――	――	――
3	**広い「かかわり」の中で、社会をつくる**			
(15)	「かかわり」を通して社会力を育成する	ＹＹボランティア活動参加者数	1,684 人	2,000人
(16)	社会力をはぐくむための環境を整える	体験活動指導者が、学校や公民館等において、子どもと共に活動する回数	――	400回/年
(17)	感性あふれる地域文化を創造する	山形ふるさと塾活動賛同団体の数	253 団体	300団体
(18)	生涯学習社会を形成する	やまがたマナビィカレッジ事業で情報提供した生涯学習講座の受講者数	15,156 人	17,000人
(19)	誰にでも親しめるスポーツの推進を図る	県内総合型地域スポーツクラブの会員数	20,177 人	24,000人
(20)	感動と活力を生み出す力強いスポーツの推進を図る	国民体育大会天皇杯順位（得点）	天皇杯順位36位 （得点）788.5点	天皇杯順位20位台 （得点）900点
4	**学校と地域を元気にする**			
(21)	優れた教員を採用する	教員採用試験志願倍率	7 倍	7倍
(22)	信頼され、尊敬される教員を育成する	授業研究や学習指導を支援する「カリキュラムサポートプラザ」の利用数	129 件	180件
(23)	教員が意欲をもって能力を発揮する	学校マネジメントの視点による取組みを通して、前年度と比べて、より教育活動に専念できる環境になったとする学校の割合	――	80%
(24)	教職員の健康管理を進める	管理監督者向けメンタルヘルスセミナーの受講率	35.9%	100%
(25)	公立学校施設を整備する	公立学校の耐震化率	公立小中 61.7% 公立高 76.8%	100%
(26)	子どもたちの安全を確保する	学校安全計画（安全教育・安全管理・職員研修を盛り込んだ計画）の策定率	小 74.5% 中 61.1% 高 35.8% 特 75.0%	100%
(27)	信頼される学校､県民協働による教育をつくる	学校関係者評価の実施率	小 76.5% 中 68.9% 高 100% 特 100%	100%

山形県教育庁総務課教育企画室

変化する時代を 主体的に生きぬく力をはぐくむ 「いのちの教育」

第５次山形県教育振興計画
後期プラン［平成23－27年度］

●５教振は平成16年3月に策定し､平成17年から27年の概ね10年間を計画期間としています。

●これまで、少子高齢化の急速な進行や国際化・情報化の進展など、教育を取り巻く社会環境は大きく変わってきています。

●このような変化に対応し、時代の変化を的確に読み取り、主体的に生きぬく力を育成するため、計画の見直しを図りました。

平成23年3月　山形県教育委員会